

## コミュニケーションの原点—世界に通じる力を育てる—第 100 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。

NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。(以下セルラスと表記します)

今、ウイルス感染拡大を受けて、世界中で暗いニュースが飛び交い、様々なところに影響を及ぼしていますね。セルラスも参加される皆様の健康や安全を考え、3月に予定していた講演会、および様々なイベントを全て中止させていただいております。

すでにお申し込みくださり、楽しみにしてくださっていた皆様には、大変なご迷惑をおかけしており、心からお詫び申し上げます。

今日は、「こんな時だからこそ、ぜひ親子で考えてみたらどうだろう？」

という鈴木理事長からの提案があり、それをメルマガの記事とさせていただきます。

ぜひ最後までお読みください。

---

『コミュニケーション力はどうのようにして育成されるのか』

NPO 法人多言語広場セルラス理事長 鈴木隆志

約 3 週に 1 回の頻度で掲載して来ましたセルラスのメールマガジンも、お陰さまで 100 号を迎えることができました。

皆様のご協力を心から感謝するとともに、今後とも引き続きご愛読のほどよろしく申し上げます。

新型コロナウイルス(COVID-19)の猛威が世界中に広がっています。

グローバル化には多くのメリットもありますが、今回は起こって欲しくなかったデメリットといえるでしょう。日本では幼・小・中・高と学校を対象に政府が一斉休校という要請をしましたが、様々な問題が起きているようです。

子供たちの休みが急に増えたことで、戸惑っている保護者の方もたくさんいらっしゃることでしょう。

さて、昨年秋から冬にかけて、関西から関東までの 12 地域で、会員の皆様と懇談会を行ないました。

その際に、皆様から事前に質問や聞きたいことをお寄せいただき、それを基に懇談を行いました。

そして、それらをまとめた「歩一歩(ほいっぽ)」という冊子を今年に入って発刊しました。

すでにお読みになられた方もいらっしゃると思います。

冊子の中で、子供たちのコミュニケーション力の低下により、現時点で様々な現象が引き起こされていることについて触れました。

例えば小学校の暴力問題が、昨年中学校を超え、特に低学年の子の暴力行為が著しく増えていることや、

ニート・ひきこもりの人が毎年増加していることなどです。

これらは単純に要因を決めつけることはできませんが、幼児・小学生年代での「コミュニケーション能力の発育不足」が大きな要素の一つとして挙げられると思っています。

つまり、自分のことを「ことば」で表現できないから、暴力という手段に出てしまうということです。

さらに小学校低学年の暴力行為について調べてみると、「自己肯定感が低い」ということも関係しているようです。いわゆる自分に対する自信の無さです。

自分の想いを「ことば」にして伝えることが苦手なために、親や周りの人に受け取ってもらえない、理解してもらえない。結果としてそれが自信の無さに繋がっていきます。

そして、自信の無さが周囲の人とコミュニケーションをする勇気や気力を奪い、よりコミュニケーション能力が育ちにくくなっていく…。

つまり、自己肯定感もコミュニケーション能力の育成に大きく関わっているのです。

コミュニケーション能力の育成には家庭内での対話、特に親子の対話が最も重要とされています。

お子さんをお持ちの方はよく考えてみて欲しいのですが、「コミュニケーション」と思っている「対話」が注意や要求、指示などに偏りがちになってはいないでしょうか？

私は自分の経験から、コミュニケーションの基本は、できる限り子供と共有できる体験を見つけ、努力したことや頑張ったこと、少なくとも何かやろうと行動したことへのプロセスをお互いに認め合うことで、新たな親子のコミュニケーションが生まれてくるのだと思っています。

セルラスは「多言語活動」を行っていますが、それは単に「外国語を話す」というだけの活動ではなく、あくまで「ことばの活動」です。

家族、親子で一緒にことばの活動を行うことで、共有できる体験がたくさん生まれ、そこに新たなコミュニケーションが生まれます。

お子さんがスポーツなどを習っていて、それを一生懸命応援したり、勉強なども毎日のようにしっかりと見てあげたりして、頑張っている親御さんもいらっしゃることでしょう。

しかし、それはあくまで、外側から体験を見ているのであって、お子さんと全く同じ立場でレッスンや授業を受け、試合に出たり、テストを受けたりしない限り、本当に体験を共有することはできないはずです。

そういう意味では、セルラスの多言語活動は親子で体験を共有することがたくさんありますし、家族と子供たちの将来に向けて、グローバルコミュニケーション力を伸ばすのに最適な活動だと思います。

もっと具体的な内容をお知りになりたい方は、ぜひ各地域で行われているピアザ(週1回の活動の場)に体験としてご参加いただくか、または、4月以降に関東・関西で開催予定の講演会を今一度、聞きにいらしてください。

長期の休校によって、子供たちと一緒に居る時間が増えた保護者の方もいらっしゃることでしょう。せっかくだからこの時間を親子のコミュニケーションに活かしてみたいはかがでしようか。

いかがでしたでしょうか？

こんな状況ですから、どうしても気分が沈みがちですが、この状況を何かのチャンスと受け止め、子供と一緒に家で何ができるか、ということ話し合ってみたいと思いました。そう考えると、なんだかワクワクします。

どんな状況であっても、『なにができるか？』と自分で考え、見つける力は人生を楽しむための必需品かもしれませぬ。

<セルラスインフォメーション>

◆講演会情報

4月の講演会は現在開催予定です。

まだ参加したことのないご家族お友だちにぜひご紹介ください。

▼関東

●品川区

4月16日(木)9:45~11:45 きゅりあん

4月21日(火)9:45~11:45 スクエア荏原

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または本部事務局 03-5333-8202  
info@celulas.or.jp までご連絡ください。

※ご参加いただく皆様には、マスクの着用をお願いいたしております。

さらに入り口ではご自由にお使いいただけるよう、消毒薬を準備しております。

講演開催については、状況により変更の可能性もありますので、ご了承ください。

◆各地域のピアザ開催について

週に1回、各地域で『ピアザ』という集まりを行っていますが、現在各地域よって、開催状況が異なります。

参加をご希望の方は、ご存じの各地域コーディネーター、または、本部事務局までお問合せ下さい。

03-5333-8202

info@celulas.or.jp

-----  
★メルマガをお読みになった皆様のご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。

皆さまからのご感想をお待ちしております。

アドレスはこちら → [kouhou@celulas.or.jp](mailto:kouhou@celulas.or.jp)